

月指導計画 1歳児

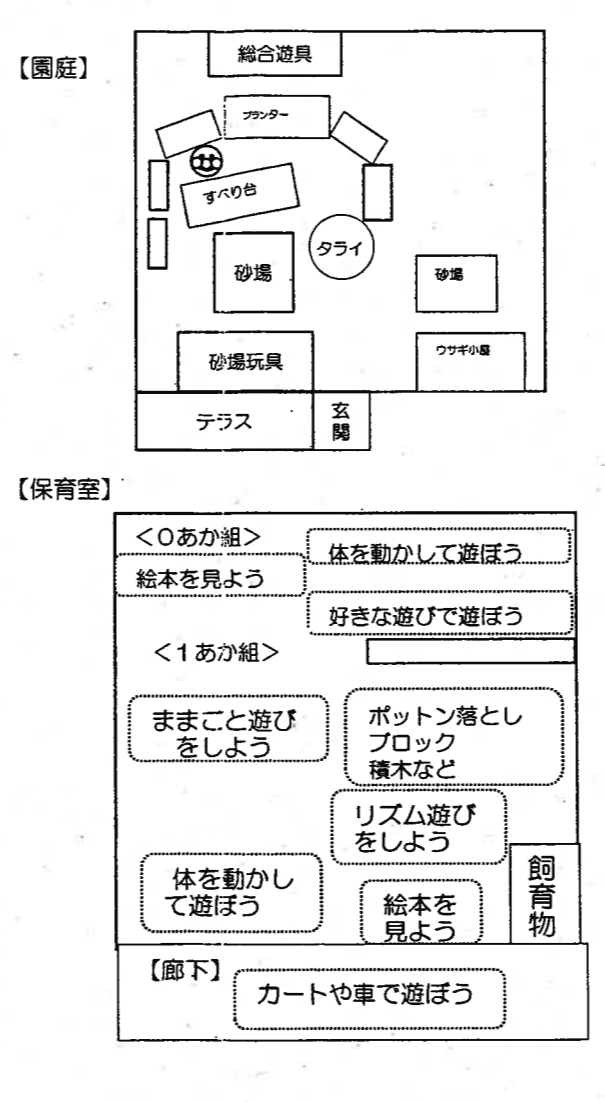
9月のねらい

<p><b>養護</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●衛生面や健康面に留意して、快適に過ごせるようにする。</li> <li>●保育教諭との安心できる関係の中で、意欲的に過ごせるようにする。</li> <li>◎身の回りのことに興味をもち、自分でやってみようとする気持ちをもつ。(低)</li> <li>◎自分から身の回りのことをやってみようとする。(高)</li> </ul>	<p><b>★保育教諭の環境構成の援助</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆快適に過ごせるように、室内の温度や湿度に留意する。</li> <li>◆園児が安心して遊びたい物で遊べるように、玩具の種類や数、場所を準備する。</li> <li>◆園児が自分で生活しやすいように、生活環境を整えておく。</li> <li>★気温や活動に合わせて衣服の調節を行い、快適に生活できるようにする。</li> <li>★一人一人の甘えや欲求が十分に満たされるように関わる。</li> <li>★「自分で」という気持ちを大切に、できない所はさりげなく手を貸して「できた」という満足感を味わえるようにして自分でしようとする気持ちを育てていく。</li> </ul>
<p>先月の園児の姿</p>	<p>・育ちに対するねらい ☆保育教諭の援助</p>
<p>(一歳八か月児)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレで排尿したときには、「アップ」指差しをして保育教諭に出たことを知らせている。</li> <li>・ミュージックケアで、曲に合わせて保育教諭の身振りを見て真似をして楽しんでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉や仕草でトイレで排尿したことを伝える。</li> <li>・リズムに合わせて体を動かし、歌を歌ったり踊ったりする。</li> </ul> <p>☆保育教諭も一緒に踊ったり歌ったりして、楽しさを共有する。</p>
<p>(一歳十か月児)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ズボンやパンツに足を入れ、「たっちゃん」と言うように、ズボンやパンツを上げようとしている。</li> <li>・CDの曲がかかっていると、マラカスを持ってCDの前に行き、音が鳴るマラカスを振ることを楽しんでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育教諭と一緒に着脱をし、自分でもやってみようとする。</li> <li>・自分で好きな遊びを見つけて遊ぶことを楽しむ。</li> </ul> <p>☆「〇〇で遊んでいるんだね」「〇〇が好きなんだね」と自分で遊びを見つけて遊んでいることを認め、満足感が味わえるようにする。</p>
<p>(一歳十か月児)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のマークを覚え、「怜君の靴はどれかな?」と言葉がけをすると、自分でマークや靴を探して持って来て、履こうとしている。</li> <li>・友達が持っている玩具や「こーは? こーは? (これは?)」と物を指差しして保育教諭に物の名前を聞いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の靴箱に靴を片付けたり、自分で靴を履こうとする。</li> <li>・自分の思いや欲求を簡単な言葉や仕草で伝える。</li> </ul> <p>☆「〇〇だね」「〇〇がいるの?」と、本児の言葉にならない思いを受け止め代弁し、言葉で返していく。</p>
<p>(二歳児)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登園後、紙パンツと布パンツを出して「どっちのパンツを履く?」と選ばせると「こっち!」と布パンツを選んで喜んで履いている。漏れてしまったときには「でた〜」と言って知らせている。</li> <li>・欲しい物を「これいる」と言ったり、「はいどうぞ」と玩具を渡すと「ありがとう」と言葉で返したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・午前中は布パンツで過ごし、尿意を感じたら言葉や仕草で知らせる。</li> <li>・好きな遊びを通して、保育教諭とのやり取りを楽しむ。</li> </ul> <p>☆本児の話に耳を傾け、ゆったりと話を聞いたり、本児が分かりやすい言葉がけをしたりしてやり取りが楽しめるようにしていく。</p>
<p>(二歳児)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「パジャマに着替えるから服を脱ごうね」と言葉をかけると、自分で脱いでいる。</li> <li>・CDデッキを指差しして「これこれ」と言ってかけて欲しいことを伝え、曲を流すと、体を動かすことを楽しんでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンツやズボン・服を自分で脱いだり着たりしようとする。</li> <li>・保育教諭や友達と一緒に踊ったり歌ったりすることを楽しむ。</li> </ul> <p>☆保育教諭も一緒に体を動かし、楽しさを共有していく。</p>
<p>(二歳二か月児)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・布パンツで過ごしているとき、「オシッコでそう?」と聞くと「ないよ」と伝えている。</li> <li>・粘土遊びで、「ちゃんもへびつくて」として欲しいことを言葉で伝え「どうぞ」と作って渡すと、「ありがとう」と言葉でのやり取りができていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・午前中は布パンツで過ごし、尿意を感じたら言葉や仕草で知らせる。</li> <li>・好きな遊びを通して、保育教諭とのやり取りを楽しむ。</li> </ul> <p>☆尿意を知らせてきたときにはしっかりと認め、達成感が感じられるようにしていく。また、出た後に知らせてきたときも、伝えたことを認め、自己肯定感につながるようにする。</p>

教育・保育

- 生活の流れがわかり、保育教諭や友達と一緒に、全身を使って遊ぶことを楽しむ。
- 保育教諭に思いを受けとめてもらいながら、簡単な言葉で自分の思いを伝えようとする。
- 身近な自然を感じながら、自分なりに表現することを楽しむ。

○予想される遊び ☆保育教諭の援助 ・環境構成



生活の流れがわかり、保育教諭や友達と一緒に、全身を使って遊ぶことが楽しめるように

- ◇生活がしやすいように、子どもの動線を塞がないようにする。
- ◇保育室でも楽しんで体を動かして遊べるように、曲をかけたり、鉄棒・ボールなどを用意する。
- 簡単な身の回りのことを自分でしようとする。
- 戸外遊び(固定遊具・乗り物・かけっこ)
- 運動遊び(鉄棒・ボール・跳び箱・マットの山登り)
- リズム遊び(ラジオ体操・かわいいかくれんぼ・応援いっぱいありがとうミュージックケア)
- ☆生活の流れがわかりやすいように、次の活動を言葉にして知らせる。
- ☆安全面に配慮し、保育教諭も一緒に遊びながら、体を動かす楽しさを感じられるようにする。
- 保育教諭に思いを受け止めてもらいながら、簡単な言葉で自分の思いを伝えようとするができるように
- ◇自分の思いを仕草や簡単な言葉で表せるようあたたかい雰囲気づくりをする。
- ◇ごっこ遊びが楽しめるように、人形やカバンなどを用意する。
- ままごと遊び ○絵本を見よう ○ミュージックケア ○ブロック
- 歌を歌う ○触れ合い遊び ○積木 ○ポットン落とし遊び
- ☆園児の思いを汲み取り、保育教諭が言葉にして伝えることでやり取りが楽しめるようにする。
- ☆保育教諭が仲立ちしたり、遊びの見本を見せたりしながら園児同士のつながりを広げていく。
- 身近な自然を感じながら、自分なりに表現することを楽しむことができるように
- ◇涼しい秋の風を、五感を通して感じられるように、窓を開けて風通しをよくしたりモビールを吊るしておいたりする。
- ◇秋の自然を感じられるように、散歩に行く機会を作ったり、散歩バッグを用意したりしておく。
- 戸外遊び(砂遊び・泥遊び・シャボン玉遊び・泡遊び)
- 地域散策(公園・広場)
- ☆園児の発見や思いを受け止め、共感的な言葉がけをしていくことで、身近な自然への興味につなげる。
- ☆秋の自然に目が向くように話しかけたり、自然物に触れたりして親しめるようにする。

<p>保育資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○手遊び・歌(うんとどろかいのうた・とんぼのめがね・けんこつやまのたぬきさん・ポンポコたぬき)</li> <li>○体操・踊り(ラジオ体操・かわいいかくれんぼ・応援いっぱいありがとう)</li> <li>○絵本(月刊絵本・きがえまじよ・はしるのだいすき)ひよこが</li> <li>○制作(ぶどう・きのこ)トナリ</li> </ul>	<p>行事</p>	<p>散地策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園(石段や土管を上がり下りする)</li> </ul>
<p>健康・安全・食育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の健康状態を把握し、体調や活動量に応じて水分補給を行い、休息が十分とれるようにする。</li> <li>・一人一人の健康を丁寧に観察し変化が見られた時は、早めに対応する。</li> <li>・睡眠中は子どもの様子をこまめに観察し、SIDSの予防に努める。</li> <li>・自分で食べようとする姿を認め、必要に応じて援助をし、自分で食べた喜びを感じられるようにする。</li> </ul>	<p>家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳や送迎時の対話で毎日の園児の様子を伝え、不安や疑問を解消するよう心がけ、信頼関係を築いていく。</li> <li>・流行性感染症の情報を伝え、家庭での健康管理や園での体調管理を細やかに連携し、予防に努める。</li> <li>・運動会に向けての遊びの様子や当日の姿を通して、伸びようとしている態度や心情を伝え、喜び合う。</li> <li>・「自分で」という気持ちを強く表現する時期だが、成長の姿であることを随時話をし、温かく見守ってもらうようにする。</li> <li>・クラス便りや園便り、遊びの記録を用いて、園児の成長を伝え、園での取り組みを知ってもらう。</li> </ul>	
<p>★するねらい面に対</p>	<p>○運動会に向けてかけっこや踊りをして、ソフトブロックを自分で並べたりブロックの上を歩いたり体を動かすことができた。</p> <p>○保育教諭や友達と一緒にトナリのペーパーを持ってオルガンの音に合わせて歌詞を口ずさんだり、体を揺らしたりするのを楽しんだ。</p> <p>○年上の異年齢児が持ってきたバッグを見せてもらって、秋の風を感じながら砂場やすべり台を遊ぶのを楽しんだ。</p>	

9月のねらい

<p>★ 保育 教諭の 環境 構成 の 援 助</p>	<p>●衛生面や健康面に留意して、快適に過ごせるようにする。 ●保育教諭との安心できる関係の中で、意欲的に過ごせるようにする。 ●身の回りのことに興味をもち、自分でやってみようとする気持ちをもつ。(低) ●自分から身の回りのことをやってみようとする。(高)</p>
<p>★ 保育 教諭の 環境 構成 の 援 助</p>	<p>◆快適に過ごせるように、室内の温度や湿度に留意する。 ◆園児が安心して遊べたい物で遊べるように、玩具の種類や数、場所を準備する。 ◆園児が自分で生活しやすいように、生活環境を整えておく。 ★気温や活動に合わせて衣服の調節を行い、快適に生活できるようにする。 ★一人一人の甘えや欲求が十分に満たされるように関わる。 ★「自分で」という気持ちを大切に、できない所はさりげなく手を貸して「できた」という満足感を味わえるようにして自分でしようとする気持ちを育てていく。</p>

	先月の園児の姿	・育ちに対するねらい ☆保育教諭の援助
--	---------	---------------------

(一歳八か月) 児	<p>・トイレで排尿したときには、「アップ」と指差しをして保育教諭に出たことを知らせている。 ・ミュージックケアで、曲に合わせて保育教諭の身振りを見て真似をして楽しんでいる。</p>	<p>・言葉や仕草でトイレで排尿したことを伝える。 ・リズムに合わせて体を動かし、歌を歌ったり踊ったりする。 ★保育教諭も一緒に踊ったり歌ったりして、楽しさを共有する。</p>
-----------	---	--

(一歳十か月) 児	<p>・スポンやパンツに足を入れ、「たっちゃん」と言うように、スポンやパンツを上げようとしている。 ・CDの曲がかかっていると、マラカスを持ってCDの前に行き、音が鳴るマラカスを振ることを楽しんでいる。</p>	<p>・保育教諭と一緒に着脱をし、自分でもやってみようとする。 ・自分で好きな遊びを見つけて遊ぶことを楽しむ。 ★「〇〇で遊んでいるんだね」「〇〇が好きなんだね」と自分で遊びを見つけて遊んでいることを認め、満足感が味わえるようにする。</p>
-----------	---	---

(一歳十か月) 児	<p>・自分のマークを覚え、「怜君の靴はどれかな?」と言葉がけをすると、自分でマークや靴を探して持って来て、履こうとしている。 ・友達が持っている玩具や「こーは? こーは? (これは?)」と物を指差しして保育教諭に物の名前を聞いている。</p>	<p>・自分の靴箱に靴を片付けたり、自分で靴を履こうとする。 ・自分の思いや欲求を簡単な言葉や仕草で伝える。 ★「〇〇だね」「〇〇がいるの?」と、本児の言葉にならない思いを受け止め代弁し、言葉で返していく。</p>
-----------	--	---

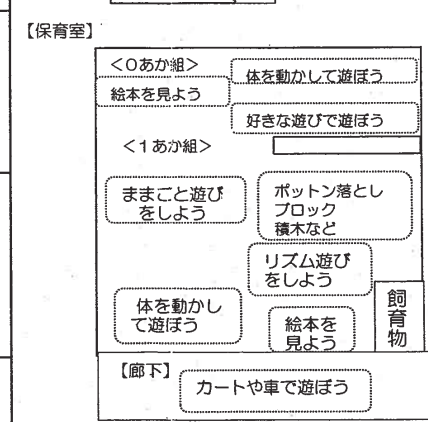
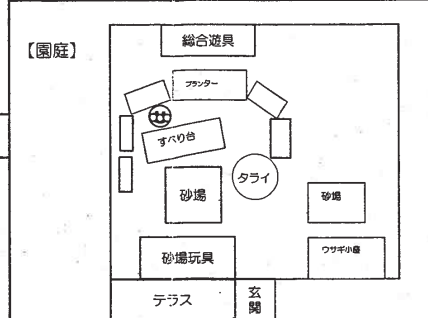
(二歳) 児	<p>・登園後、紙パンツと布パンツを出して「どっちのパンツを履く?」と選ばせると「こっち!」と布パンツを選んで喜んで履いている。漏れてしまったときには「でた〜」と言って知らせている。 ・欲しい物を「これいる」と言ったり、「はいどうぞ」と玩具を渡すと「ありがとう」と言葉で返したりしている。</p>	<p>・午前中は布パンツで過ごし、尿意を感じたら言葉や仕草で知らせる。 ・好きな遊びを通して、保育教諭との言葉のやり取りを楽しむ。 ★本児の話を耳を傾け、ゆったりと話を聞いたり、本児が分かりやすい言葉がけをしたりしてやり取りが楽しめるようにしていく。</p>
--------	--	---

(二歳) 児	<p>・「パジャマに着替えるから服を脱ごうね」と言葉をかけると、自分で脱いでいる。 ・CDデッキを指差しして「これこれ」と言ってかけて欲しいことを伝え、曲を流すと、体を動かすことを楽しんでいる。</p>	<p>・パンツやスポン・服を自分で脱いだり着たりしようとする。 ・保育教諭や友達と一緒に踊ったり歌ったりすることを楽しむ。 ★保育教諭も一緒に体を動かし、楽しさを共有していく。</p>
--------	---	--

(二歳二か月) 児	<p>・布パンツで過ごしているとき、「オシッコでそう?」と聞くと「ないよ」と伝えている。 ・粘土遊びで、<u>      </u>ちゃんもへびつくって」として欲しいことを言葉で伝え「どうぞ」と作って渡すと、「ありがとう」と言葉でのやり取りができている。</p>	<p>・午前中は布パンツで過ごし、尿意を感じたら言葉や仕草で知らせる。 ・好きな遊びを通して、保育教諭とのやり取りを楽しむ。 ★尿意を知らせてきたときにはしっかりと認め、達成感が感じられるようにしていく。また、出た後に知らせてきたときも、伝えたことを認め、自己肯定感につながるようにする。</p>
-----------	--	--

教育・保育	<p>○生活の流れがわかり、保育教諭や友達と一緒に、全身を使って遊ぶことを楽しむ。 ○保育教諭に思いを受けとめてもらいながら、簡単な言葉で自分の思いを伝えようとする。 ○身近な自然を感じながら、自分なりに表現することを楽しむ。</p>
-------	---

○予想される遊び ☆保育教諭の援助 ・環境構成



生活の流れがわかり、保育教諭や友達と一緒に、全身を使って遊ぶことが楽しめるように  
◇生活がしやすいように、子どもの動線を塞がないようにする。  
◇保育室でも楽しんで体を動かして遊べるように、曲をかけた時、鉄棒・ボールなどを用意する。  
○簡単な身の回りのことを自分でしようとする。  
○戸外遊び(固定遊具・乗り物・かけっこ)  
○運動遊び(鉄棒・ボール・跳び箱・マットの山登り)  
○リズム遊び(ラジオ体操・かわいいかくれんぼ・応援いっぱいありがとうミュージックケア)  
★生活の流れがわかりやすいように、次の活動を言葉にして知らせる。  
★安全面に配慮し、保育教諭も一緒に遊びながら、体を動かす楽しさを感じられるようにする。  
保育教諭に思いを受け止めてもらいながら、簡単な言葉で自分の思いを伝えようとするように  
◇自分の思いを仕草や簡単な言葉で表せるようあたたかい雰囲気づくりをする。  
◇ごっこ遊びが楽しめるように、人形やカバンなどを用意する。  
◇ままごと遊び ○絵本を見よう ○ミュージックケア ○ブロック  
○歌を歌う ○触れ合い遊び ○積木 ○ポットン落とし遊び  
★園児の思いを汲み取り、保育教諭が言葉にして伝えることでやり取りが楽しめるようにする。  
★保育教諭が仲立ちしたり、遊びの見本を見せたりしながら園児同士のつながりを広げていく。  
身近な自然を感じながら、自分なりに表現することを楽しむことができるように  
◇涼しい秋の風を、五感を通して感じられるように、窓を開けて風通しをよくしたりモビールを吊るしておいたりする。  
◇秋の自然を感じられるように、散歩に行く機会を作ったり、散歩バッグを用意したりしておく。  
○戸外遊び(砂遊び・泥遊び・シャボン玉遊び・泡遊び)  
○地域散策(        広場)  
★園児の発見や思いを受け止め、共感的な言葉がけをしていくことで、身近な自然への興味につなげる。  
★秋の自然に目が向くように話しかけたり、自然物に触れたりして親しめるようにする。

保育資料	<p>○手遊び・歌(うんとおかいのうた・とんぼのめがね・げんこつやまのたぬきさん・ポンポコたぬき) ○体操・踊り(ラジオ体操・かわいいかくれんぼ・応援いっぱいありがとう) ○絵本(月刊絵本・きんぎょましましよ・はしるのたいすき)ひまわり ○制作(ぶどう・きんぎょ)トンボ</p>	行事		散地策域	<p>● <u>      </u> 広場(石段や土管を上がり下りする)</p>
------	---	----	--	------	--

健康・安全・食育	<p>・一人一人の健康状態を把握し、体調や活動量に応じて水分補給を行い、休息が十分とれるようにする。 ・一人一人の健康を丁寧に観察し変化が見られた時は、早めに対応する。 ・睡眠中は子どもの様子をこまめに観察し、SIDSの予防に努める。 ・自分で食べようとする姿を認め、必要に応じて援助をし、自分で食べた喜びを感じられるようにする。</p>	家庭との連携	<p>・連絡帳や送迎時の対話で毎日の園児の様子を伝え、不安や疑問を解消するよう心がけ、信頼関係を築いていく。 ・流行性感染症の情報を伝え、家庭での健康管理や園での体調管理を細やかに連携し、予防に努める。 ・運動会に向けての遊びの様子や当日の姿を通して、伸びようとしている態度や心情を伝え、喜び合う。 ・「自分で」という気持ちを強く表現する時期だが、成長の姿であることを随時話し、温かく見守ってもらうようにする。 ・クラス便りや園便り、遊びの記録を用いて、園児の成長を伝え、園での取り組みを知ってもらう。</p>
----------	---	--------	---

★  
すね  
ら  
評  
価  
に  
対  
し  
て

○運動会に向けてかけっこや踊り(た)ソフトブロックを自分で並べたりブロックの上を歩いたりして体を動かすことができた。  
○保育教諭や友達と一緒にトンボのペーパーアートを持ってオルガンの音に合わせて歌詞を口ずさんだり、体を揺らしたりするのを楽しんだ。  
○年上の異年齢児が捕まえたバッタを見せると、木の風を感じながら砂場やすべり台を遊ぶのを楽しんだ。

10月のねらい

<p>★保育教諭の援助</p> <p>◆環境構成</p> <p>◆「自分で」という気持ちを大切に、できない所はさりげなく手を添えて「できた」という満足感を味わえるようにして自分でしようとする気持ちを育てていく。</p>	<p>●衛生面や健康面に留意して、快適に過ごせるようにする。</p> <p>●保育教諭との安心できる関係の中で、意欲的に過ごせるようにする。</p> <p>◎身の回りのことに興味をもち、自分でやってみようとする気持ちをもつ。(低)</p> <p>◎自分から身の回りのことをやってみようとする。(高)</p> <p>◆快適に過ごせるように、室内の温度や湿度に留意する。</p> <p>◆園児が安心して遊びたい物で遊べるように、玩具の種類や数、場所を準備する。</p> <p>◆園児が自分で生活しやすいように、生活環境を整えておく。</p> <p>◆気温や活動に合わせて衣服の調節を行い、快適に生活できるようにする。</p> <p>★一人一人の欲求が十分に満たされるように関わる。</p> <p>★「自分で」という気持ちを大切に、できない所はさりげなく手を添えて「できた」という満足感を味わえるようにして自分でしようとする気持ちを育てていく。</p>	
<p>先月の園児の姿</p>	<p>・育ちに対するねらい ★保育教諭の援助</p>	
<p>(一歳九か月児)</p>	<p>・「スポンを脱ぐよ」と言葉をかけて、少し脱がせると自分で脱いでいる。履くときも足先を少しスポンに通すことで履くようになっている。</p> <p>・トイレや戸外に遊びに出る準備に誘うが「いやいや」と気持ちが向かない時がある。</p>	<p>・パンツやスポンを自分で脱いだり履いたりしようとする。</p> <p>・欲求や思いを受け止めてもらい安心して過ごす。</p> <p>★イヤイヤの時期を認め、スキンシップを増やして本児の思いに寄り添い、生活の流れが切り替わる時に見通しがもてるよう言葉をかける。</p>
<p>(一歳十一か月児)</p>	<p>・外へ出るときに「くっく くっく」と靴を持って来ることを知らせると自分の靴を持って来たり、パジャマに着替後、脱いだ服をカゴに入れるよう伝えると入れたりしている。</p> <p>・自分で階段を使ってスベリ台に上げられるようになり、スベリ台の上から「あーあー」と大きな声で自分の居場所をアピールしている。</p>	<p>・自分の物を持って来たり片付けたりする。</p> <p>・保育教諭や友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。</p> <p>★自分で持って来たり、片付けたりしたことを共感し、自分でする力になるように、自分でできたことを認めていく。</p>
<p>(一歳十一か月児)</p>	<p>・フォークやスプーンで上手に食材を口に運び、トレイにこぼれたときには、自分で拾ってつまんで食べている。おかわりのお皿を指差しして、「ちょうだい」と言っている。</p> <p>・園庭の総合遊具では、階段を上げて通路を行ったり来たりすることを楽しんでいますが、スベリ台を一人で滑ることは怖いようで、階段から下りている。</p>	<p>・フォークやスプーンを自分で最後まで食べる。</p> <p>・走ったりスベリ台をしたりして、体を動かして遊ぶことを楽しむ。</p> <p>★自分で食材を口に運んでいたりと、自分で食べて空っぽになったお皿を認めたりして、自分で食べ切った達成感が味わえるようにする。</p>
<p>(二歳一か月児)</p>	<p>・スポンを脱がそうとして「じぶんて！」と言って自分で脱いだがる姿が見られる。</p> <p>・園庭で年上の異年齢児にカゴの中のバッタを見せてもらったり、自分でアリアを捕まえて飼育ケースに入れることを楽しんでいる。</p>	<p>・パンツやスポン・服を自分で脱いだり着たりしようとする。</p> <p>・園庭やふれあい広場で思い切り虫捕りを楽しむ。</p> <p>★「じぶんて！」という気持ちを大切にしながらも、遊んでしまいますすまないとときには、さりげなく自分でできるように言葉を添えたり手伝ったり自分でできたことを認めていく。</p>
<p>(二歳一か月児)</p>	<p>・ごはんやおかずを食べ切り、お皿の中が空っぽになると「ツカ ツカ (ピカピカ)」と保育教諭に知らせている。</p> <p>・ままごと遊びで保育教諭の口にジュースを持って来て「ごくごく」と言ったり「リンゴジュース おいしい!」と保育教諭が言うのと「りんご〜」と言葉を真似たりしている。</p>	<p>・こぼしながらもフォークやスプーンを自分で最後まで食べる。</p> <p>・簡単な言葉のやり取りをしながら、保育教諭や友達と一緒に遊ぶ。</p> <p>★自分でフォークやスプーンを使って意欲的に食べている姿を褒め、自分で食べた達成感が味わえるようにする。</p>
<p>(二歳三か月児)</p>	<p>・布パンツを自分で選んで持って来たり着替えた服をブルバックに片付けたりしている。「せんせー して〜」と甘えてくるときもある。</p> <p>・同じ玩具が欲しかったり、一人で玩具を使いたくて取り合いになることがある。</p>	<p>・簡単な身の回りのことを自分でする。</p> <p>・保育教諭を仲立ちとしながら、友達と遊ぶ楽しさを味わう。</p> <p>★甘えたい気持ちを受け止めながら、自分でやりやすいように、衣服などは揃えて置いておき、自分でできた満足感が味わえるようにする。</p>

<p>教育・保育</p> <p>◇環境構成</p> <p>○予想される遊び</p> <p>★保育教諭の援助</p>	<p>○生活の流れがわかり、保育教諭や友達と一緒に、全身を使って遊ぶことを楽しむ。</p> <p>○保育教諭に思いを受けとめてもらいながら、簡単な言葉で自分の思いを伝えようとする。</p> <p>○身近な自然を感じながら、自分なりに表現することを楽しむ。</p>
<p>園庭</p> <p>生活の流れがわかり、保育教諭や友達と一緒に、全身を使って遊ぶことが楽しめるように</p> <p>◇生活がしやすいように、子どもの動線を塞がないようにする。</p> <p>◇保育室でも楽しんで体を動かして遊べるように、曲をかけたたり、ソフトブロック・ボールなどを用意する。</p> <p>○簡単な身の回りのことを自分でしようとする。</p> <p>○戸外遊び(固定遊具・乗り物・かけっこ)</p> <p>○運動遊び(ボール)</p> <p>○リズム遊び(ミュージックケア)</p> <p>★生活の流れがわかりやすいように、次の活動を言葉にして知らせる。</p> <p>★安全面に配慮し、保育教諭も一緒に遊びながら、体を動かす楽しさを感じられるようにする。</p> <p>保育教諭に思いを受け止めてもらいながら、簡単な言葉で自分の思いを伝えようとするように</p> <p>◇自分の思いを仕草や簡単な言葉で表せるようあたたかい雰囲気をつくりをする。</p> <p>◇ごっこ遊びが楽しめるように、人形やカバンなどを用意する。</p> <p>○ままごと遊び ○絵本を見よう ○パズル ○触れ合い遊び</p> <p>○積木 ○ポットン落とし遊び</p> <p>★園児の思いを汲み取り、保育教諭が言葉にして伝えることでやり取りが楽しめるようにする。</p> <p>★保育教諭が仲立ちしたり、遊びの見本を見せたりしながら園児同士のつながりを広げていく。</p> <p>身近な自然を感じながら、自分なりに表現することを楽しむことができるように</p> <p>◇自分なりの表現が楽しめるように、ペープサートを作っておく。</p> <p>◇秋の自然を感じられるように、地域散歩に行く機会を作ったり、散歩バッグを用意したりしておく。</p> <p>○戸外遊び(砂遊び・虫みつけ・草や実集め) 虫取り)</p> <p>○地域散歩(広場・海岸)</p> <p>○表現遊び(季節の歌・ペンぎんたいそう・粘土・クレヨン画)</p> <p>★秋の自然に目に向くように話しかけたり、自然物に触れたりして親しめるようにする。</p> <p>★ペープサートを持ち、曲に合わせて自分なりの表現をしている姿を認め友達と一緒に楽しさが味わえるようにする。</p>	
<p>保育資料</p>	<p>○歌・手遊び(どんぐりのめがね・どんぐりころころ・どんぶり・こぶためがね) 大きな葉の下で</p> <p>○絵本(月刊絵本・くだものくわいしゃ・わたしのあべんとう)</p> <p>○制作(まか・ドク)・クレヨン画) 手型(木)</p>
<p>健康・食育・安全</p>	<p>・一人一人の健康を丁寧に観察し変化が見られた時は、早めに対応する。</p> <p>・気温差が激しい時期なので、衣服の調節に配慮する。</p> <p>・秋の野菜や果物の名前を知り、興味をもつ。</p> <p>・睡眠中は子どもの様子をこまめに観察し、SID Sの予防に努める。</p> <p>・木の実や葉など口に入れないように気を付ける。</p>
<p>行事</p>	<p>・運動会・内科検診</p>
<p>地域連携</p>	<p>【地域散歩】</p> <p>・広場(ボール遊び・虫探し)・地域ハンドグリ拾いに行く(海岸(貝殻拾い))</p>
<p>家庭との連携</p>	<p>・連絡帳や送迎時の対話で毎日の園児の様子を伝え、不安や疑問を解消するよう心がけ、信頼関係を築いていく。</p> <p>・流行性感染症の情報を伝え、家庭での健康管理や園での体調管理を細やかに連携し、予防に努める。</p> <p>・運動会に向けての遊びの様子や当日の姿を通して、伸びようとしている態度や心情を伝え、喜び合う。</p> <p>・「自分で」という気持ちを強く表現する時期だが、成長の姿であることを随時話し、温かく見守ってもらうようにする。</p> <p>・クラス便りや園便り、遊びの記録を用いて、園児の成長を伝え、園での取り組みを知ってもらう。</p>
<p>対★すねら評い価に</p>	<p>・地域散歩で海岸へ行き、ボール遊びをしたり、石を拾って海に向かう投げたりするのを楽しんだ。</p> <p>・自分で使った玩具を友達と分かちあっている。保育教諭のところに集って簡単な言葉で欲しいことを伝え、保育教諭と一緒に友達と「あーあー」と自分の思いを伝えることができた。</p> <p>・地域で拾った貝殻を使って、ままとポットン落としで木の自然に触れながら遊ぶことができた。</p>